早稲田大学・美濃加茂市文化交流事業共催展

新収蔵記念　「本陣の品々」

会　　期：2024 年 7 月 13 日（土）～8 月 25 日（日）　〈38 日間〉
会　　場：企画展示室
観 覧 料：無料
展示点数：71 件 75 点
入場者数：1,878 人

【内容】

江戸時代に日本橋から京都までをつないだ中山道。中山道には草津・大津を含めて 69 の宿駅があり、現在の美濃加茂市太田本町には 51 番目の宿である太田宿がありました。宿場は街道の要所要所に設けられ、休憩・宿泊のための施設や、荷物や手紙の運送に関わる施設がおかれていました。宿場に置かれた宿泊施設のなかでも、諸大名や公家、幕府の役人といった身分の高い人々が宿泊するための施設は本陣や脇本陣と呼ばれ、宿場の中でも最も重要な施設とみなされます。18 世紀後半、太田宿の本陣は宿の中心である中町という地区におかれ、福田次郎右衛門という人物が務めていました。福田家は代々太田宿の本陣を世襲した家柄で、庄屋も兼ねるなど太田村の村政に深く関わっていました。

当館では、2022 年度に太田宿本陣の資料が収蔵品に加わりました。今回の展覧会は、新収蔵記念としてその資料のうち主なものを選りすぐってご紹介するものです。太田宿本陣の資料を通して福田家と尾張藩の関係や福田家がこの地域で果たした役割を考えます。

また、この展覧会は美濃加茂市と文化交流協定を結んでいる早稲田大学との共催展として開催します。早稲田大学本庄キャンパスのある埼玉県本庄市にはかつて本庄宿がありました。本庄宿は中山道の 10 番目の宿場であり、太田宿と同じく山間部と平野部が行き来する立地にありました。展覧会では、本庄宿の資料から当時の宿場の様相を知り、太田宿の資料と合わせて本陣の姿に迫ります。

【関連事業】

□講演会「太田宿本陣の古文書を読みとく」

太田宿本陣の古文書を読みときながら太田宿本陣福田家の活動についてお話しいただきました。

7 月 21 日（日）14:00～15:30　　参加者：45 人
講　師：神谷智氏（愛知大学文学部教授）
参加料：無料
会　場：みのかも文化の森　研修室、企画展示室

□ミュージアムトーク①　本庄宿を中心に

本庄市の秋山寛行学芸員をお招きし、本庄宿に関する資料を中心に展示室をご案内しました。

8 月 1 日（木）　①11：30～12：30　参加者：21 人　②14：00～15：00　参加者：20 人
講　師：秋山寛行氏（本庄市学芸員）

参加料：無料
会　場：みのかも文化の森　企画展示室

□ミュージアムトーク②　太田宿本陣資料を中心に
担当学芸員が展示室をご案内しました。
8 月 10 日（土）　①10：00～11：00　参加者：10 人　②13：30～14：30　参加者：20 人
参加料：無料
会　場：みのかも文化の森　企画展示室

【刊行物・ミュージアムグッズ】
展示図録　A4 判　8 ページ　販売価格 200 円

【展示品】

No	資料名	年代	サイズ(cm)	所蔵
1　中山道と宿場				
1	大日本道中細見絵図(部分)〔写真〕	天保 14(1843)年	－	早稲田大学図書館蔵
2	古今東京名所　日本橋大名の行烈〔写真〕	明治 17(1884)年	－	早稲田大学図書館蔵
3	『岐蘇名所図会　初篇』(部分)〔写真〕	嘉永期	－	早稲田大学図書館蔵
4	武家諸法度(部分)〔写真〕	天和 3(1683)年 7 月 25 日	－	早稲田大学図書館蔵
5	北条氏伝馬手形〔写真〕	天正 11(1583)年 7 月 28 日	－	早稲田大学図書館蔵
6	中山道記録(部分)〔写真〕	文久 3(1863)年 9 月	－	早稲田大学図書館蔵
7	『中山道分間延絵図　第四巻』	昭和 53(1978)年発行	－	館蔵
8	『中山道分間延絵図　第十六巻』	昭和 57(1982)年発行	－	館蔵
2　太田宿の本陣				
9	椀を入れる木箱	江戸時代	47.0×47.0×27.0	館蔵
10	什物簿	明治時代	26.2×18.5	館蔵
11	葡萄文蒔絵椀	江戸時代	高さ：8.0　径：12.0	館蔵
12	朱塗若松・鶴文蒔絵吸物椀	江戸時代	高さ：8.9　径：9.3	館蔵
13	四つ目菱紋五段重箱	明治時代	21.3×22.8×33.0	館蔵
14	丸に違鷹羽紋・丸に井桁紋蒔絵食籠	江戸時代中期	高さ：31.0　直径：36.0	館蔵
15	丸に四つ目菱紋蒔絵陣笠	江戸時代	36.0×38.0×8.0	館蔵
16	「由緒書」	万延元(1860)年 9 月	24.7×17.0	館蔵
17	尾州札	江戸時代	27.7×6.5×1.0	館蔵
18	福田太郎八肖像画	年代不詳	188.4×47.8	館蔵
19	行灯	江戸時代	高さ：82.2　径：31.8	館蔵
20	三十二間筋兜　伝武田耕雲斎所用	年代不詳	34.0×38.0×17	館蔵
21	三葉葵紋蒔絵硯箱	江戸時代後期	24.6×20.6×4.5	館蔵
22	御深井焼三島写文字入茶碗	年代不詳	高さ：7.5　径：12.0	館蔵
23	松竹梅文蒔絵五段重箱	江戸時代	23.4×24.3×43.8	館蔵
24	宗和膳	江戸時代	32.0×32.0×12.9	館蔵
25	太本字入飯椀	江戸時代	高さ：9.4　径：12.5	館蔵
26	太本字入汁椀	江戸時代	高さ：8.6　径：11.6	館蔵
27	太本字入平椀	江戸時代	高さ：7.3　径：12.1	館蔵
28	坪椀	江戸時代	高さ：8.5　径：9.8	館蔵
29	手塩皿	江戸時代	高さ：2.4　径：10.3	館蔵

30	宗和膳	江戸時代	27.6×27.8×6.2	館蔵
31	松竹梅蒔絵吸物椀	江戸時代後期～明治時代初期	高さ：5.2　径：9.3	館蔵
32	波に千鳥文沈金手塩皿	江戸時代後期～明治時代初期	高さ：3.0　径：10.5	館蔵
33	九谷焼竹に人物文皿	江戸時代	高さ：2.5　径：11.4	館蔵
34	色絵獅子文向付	江戸時代後期～明治時代初期	高さ：6.4　径：8.3	館蔵
35	犬山焼赤絵福寿字入蓋付碗	江戸時代後期～明治時代初期	高さ：8.3　径：10.5	館蔵
36	染付雲鶴文向付	江戸時代後期～明治時代初期	高さ：7.1　径：9.8	館蔵
37	九谷焼金襴手花文徳利	江戸時代末期～明治初期	高さ：16.4　径：7.2	館蔵
38	色絵芙蓉手花籠文皿	明治時代	高さ：3.0　径：15.5	館蔵
39	行灯	江戸時代	24.0×24.2×91.6	館蔵
40	燭台	江戸時代	高さ：70.0　径：26.8	館蔵
41	行灯	江戸時代	23.6×23.6×36.8	館蔵
42	銭箱	江戸時代後期～明治時代初期	38.4×27.4×27.0	館蔵
43	算盤	江戸時代後期～明治時代初期	13.0×77.6×4.0	館蔵
44	桶	江戸時代後期～明治時代初期	高さ：21.6　径：20.8	館蔵
45	火鉢	江戸時代後期～明治時代初期	高さ：21.6　径：29.8	館蔵
46	薬研	江戸時代後期～明治時代初期	34.2×13.2×13.1	館蔵
47	蘭引	江戸時代後期～明治時代初期	高さ：30.4　径：13.8	館蔵
48	一斗マス	明治時代	35.4×35.2×24.5	館蔵
49	岡持ち	江戸時代後期～明治時代初期	29.6×29.6×34.2	館蔵
50	鍋	江戸時代	高さ：15.4　径：38.0	館蔵
51	キリダメ	江戸時代～明治時代初期ごろか	本体：33.6×27.4×13.0 蓋：36.4×30.2×3.8	館蔵
3　本庄宿の本陣				
52	本庄宿絵図	文久元(1861)年	27.6×61.0	本庄市蔵
53	中山道絵図本庄宿	文政 11(1828)年 (明治 27(1894)年写)	40.4×249.0	本庄市蔵
54	松大鷹図	江戸時代中期	184.0×46.2	本庄市蔵
55	休泊控帳　長谷川平蔵通行記事〔複製〕	安永 2(1773)年 7 月 10 日	15.4×41.6×75.4	個人蔵
56	休泊控帳　加賀前田家記事〔複製〕	天保 13(1842)年 3 月 19 日	－	個人蔵
57	休泊控帳　尾張徳川家記事〔複製〕	文化 12(1815)年 5 月 22 日	－	個人蔵
58	関札	(安永 7(1860)年)5 月 11 日	85.0×32.0×2.0	本庄市蔵
59	「本庄宿並助郷村々誓詞一件」	天保 7(1836)年	17.4×24.4	本庄市蔵
4　太田宿の本陣を訪れた人々				
60	「御本陣　福田次郎右衛門屋敷図」〔複製〕	江戸時代	42.8×30.5	個人蔵
61	「和宮様御参幸御行列諸役お役人付」	文久元(1861)年	35.6×91.0	館蔵

62	休泊控帳(複製)　和宮宿泊記事	文久元年(1861)11 月 11 日	15.4×41.6×75.4	個人蔵
63	撥形枕	江戸時代後期	9.4×19.0×16.0 他	館蔵
64	麻葉繋地蝶文柄鏡	江戸時代後期～明治時代初期	長さ：34.0　径：23.8	館蔵
65	柄鏡	江戸時代後期～明治時代初期	長さ：33.6　径：24.0	館蔵
66	鏡巣	江戸時代後期～明治時代初期	長さ:34.2　高さ:4.7 径：30.2	館蔵
67	色絵牡丹文大皿	江戸時代	高さ：5.0　径：38.8	館蔵
5　村々との関わり				
68	「勤功書」	万延元(1860)年 9 月	24.2×16.7	館蔵
69	太田村・上蜂屋村取替証文絵図	元治元(1864)年	38.0×80.0	館蔵
70	太田村・上蜂屋村取替証文	元治元(1864)年	32.0×373.0	館蔵
71	提灯箱	江戸時代	13.0×30.8×31.5	館蔵

【参考】

本展覧会は 2022 年度に太田宿本陣関連資料 270 件余が新たに収蔵品に加わったことを記念して開催されたものである。展示した本陣資料は 50 件であったが、本陣への拝領品、休泊者を迎えるための調度品、本陣家の活動を記録した古文書類、本陣家にまつわる資料など、太田宿本陣関連資料を網羅的に展示できたと思われる。

展示にあたり、美濃加茂市民ミュージアム所蔵の文書の翻刻等については、神谷智氏（愛知大学教授）に、什物類などの太田宿本陣資料の解説については、原史彦氏（名古屋城調査研究センター）にご指導、ご協力を賜った。

また、本展は早稲田大学・美濃加茂市文化交流事業の一環として、早稲田大学および、同大学の本庄キャンパスがある埼玉県本庄市との共催展として開催された。資料調査や打ち合わせを関係者で複数回にわたって行い、資料について理解を深め、担当者同士で展示内容のすり合わせを行った。本庄宿には文字で記録された資料が多く残されている一方、太田宿には調度品などの実物資料が多く残されているという特徴があったため、両宿場の本陣を比較するのではなく、それぞれの資料を紹介することで本陣という施設をイメージしやすくなるよう展示資料を選定した。展覧会の解説文は、中山道全般について紹介した第一章を児玉憲治氏（早稲田大学非常勤講師）に、第三章を中心に本庄宿に関する部分を秋山寛行氏（本庄早稲田の杜ミュージアム学芸員）に、そのほか太田宿に関する部分を当ミュージアム学芸員が執筆した。分担して執筆したことで、それぞれの資料についてより詳しく紹介することができたと思われる。

本展覧会の後、2024 年 10 月 12 日から 2025 年 1 月 13 日にかけて早稲田大学本庄キャンパス内にある本庄早稲田の杜ミュージアムでは、企画展「中山道と本陣－本庄宿と太田宿－」が開催され、「本陣の品々」でも展示した資料の一部が展示された。そのほか、2024 年 12 月 9 日から 20 日にかけて、早稲田大学内のワセダギャラリーにてパネル展「中山道と本陣」が行われ、当ミュージアムで開催した「本陣の品々」および本庄早稲田の杜ミュージアムで開催した「中山道と本陣－本庄宿と太田宿－」の内容をパネルで紹介した。太田宿本陣資料や江戸時代の宿場を支えた本陣という施設に関して、多くの方に知っていただくきっかけになったのではないかと考えられる。

［企画展示室入口］

［企画展示室①］

［企画展示室ウォールケース］

［企画展示室②］

［講演会「太田宿本陣の古文書を読みとく」］

［ミュージアムトーク①　本庄宿を中心に］

【アンケート結果】(全 173 枚)

選択設問から

① 展示の資料・作品の見やすさ（配置、明るさ、空間など）にご満足頂けましたか？

・満足	73
・ほぼ満足	81
・ふつう	17
・やや不満	1
・不満	0
計	172

② 展示の資料・作品の分かりやすさ（解説、説明、パネルなど）にご満足頂けましたか？

・満足	73
・ほぼ満足	81
・ふつう	17
・やや不満	1
・不満	0
計	172

③ 展示の資料・作品から満足感（感動、発見、知的刺激など）が得られましたか？

・満足	73
・ほぼ満足	74
・ふつう	25
・やや不満	1
・不満	0
計	173

④ この展示を他の人に伝え、来館を勧めたいと思いますか？

・大いに	90
・少し	62
・どちらともいえない	18
・あまりすすめたくない	0
・すすめたくない	0
計	170

自由記述から

・中山道太田宿会館を訪れた時、丁度市民ミュージアムで「本陣の品々」展の初日でした。本庄市に友人がいるので興味がありました。

・本庄の学芸員さんのせつめいがよかった。

・学芸員の方の分かりやすい説明を受け、とてもわかり、楽しく見学ができました。

・展示会等もっと皆さん分かりやすく訴えていただきたいです。

・渡し船の運行が休止される「川留」により人々の交流があったり、何かが生まれていたことが災い転じて…みたいで面白いなあと思いました。現代でも何か「川留」はないかな。可児市出身の母が、土田から渡し船に乗って太田に買物に来ていたと言っておりました。あんどん、素敵です。欲しいなあ。今日は 1/3 位しっかり見ました。また来ます。

・私は昔のものが好きなのでよかったです。

・広報で知りましたが、もう少し他の所でもポスターなどはって知らせていただけると良いと思います。

・太田宿について初めて知りました。

・毛筆が読めないので、よく分かりませんでした。録音テープ方式があればよく分かったと思います。

・展示品に説明を記載したパネルが添えてあり、理解の助けとなった。展示品がガラスケースの中に収納されきれいに保管されており、必要な処置とは思います。一方、パネルもガラスケースの中に併せて設置されていたため、読み難いと感じました。パネルの設置はガラスケースの外であっても良かったのではと思います。丁寧な説明があり、江戸時代の雰囲気に触れることが出来ました感謝いたします。

・部分的に細かすぎて見にくい所あり。

・太田宿、本陣の役割やその当時を展示してある品々から、思いを馳せることが出来、とてもよかったです。また友人を誘ってきたいと思いました。

・太田宿本陣の品物の美しさと保存状態の良さに驚きました。本庄の資料も大変興味深く、「長谷川平蔵」の名を発見して改めて実在の人物なんだと思いました。

・すばらしかったです。天狗党のカブトは、初めて生で見ました。

・自分自身勉強不足で…。感動はしました。

・岐阜県にある中山道宿の歴史的な意義が分かりました。ずっと今後にも伝え、また新しい発見がある事を願っています。江戸時代は平和で人々の生活も発達した時代だったのですね。太田にも力のある福田家のような庄屋があり文化が進んでいたことがわかりました。

・ふる里の太田を離れて 40 年くらいになりますが、改めて中山道・本陣の歴史を学ぶことが出来、たいへん有意義でした。太田町中町出身です。

・できれば随時学芸員（でなくても良いが）の口頭での解説があるととっても良い。黙ってパネルを読むだけでは難しすぎる。

・ふらっと立ち寄っただけでしたがとても興味のわく展示品があり大まんぞくでした！

・どうしてもっと来館されないか。こんな大切な物、もっと皆が知る必要がある。

・脇本陣の展示もあったらと思った。

・本陣の役割の再確認。

・太田宿のあたりを歩いたことがあり、思いだせておもしろかった。

・今まで地元で長いこと、住んでいて初めて知ったことが多い。もう少したくさんの人が、おとずれて知ってもらうと良い。
・すばらしい。
・文字数が多い・字が小さい資料多し。中山道の存在意味を知れた。徳川はすごいこと考えた。時代が変わったというけど昨日の次は今日だった。
・よく収集されました。貴重な資料ありがとうございます。
・和宮や前田家が中山道を通った記録が興味深い。
・太田宿が重要な場所であったことを改めて知りました。歴史が大好きなのでこの地域の歴史情報をどんどん発信してください（特に古代）。
・地元でも美濃路、本陣、脇本陣の資料があるので、その関連でいろいろ復習できました。
・貴重な資料が見れるよい機会でした。大人でも知識がないと理解が難しいところがあるので、デザイン、文字の大きさ、平易な文章といった視覚的に分かりやすい展示だとなお良いと思いました。どなたでも故郷を理解しやすい展示を望みます。
・昔の江戸時代のことがしれて良かったです。
・太田宿の西福寺で少し仕事で携わることがあり、山門が本陣の門と知りおどろきました。
・歴史の大切さを学ぶことが出来今後の生活に生かしたい。
・満足。
・いろいろなものを見ることができて良かった。古く良いものが残っていてすばらしい。
・展示が見やすくゆっくり見られました。美術館の様に、座れる場所があると想像を時代にめぐらせたりすることができる。関連書籍が参考のために置いてあっても良いかもしれない。
・古い道具類が大切に美しく保管されていて、その時代ならではの使い勝手が良い様にまるでカラクリのような道具を楽しく見せていただきました。話を聞いたり見たりした後で本陣のある道の見方が変わります。
・ミュージアムトークとても楽しかったです。よく調べられていて説明をきくことで深い理解につながりました。うるしぬりが美しい。水泥がしっかり見定められなくて折角の珍しい「塗り」なのでよくわかるようにもう一工夫欲しかったです。本陣という文化の奥深さに触れられて地域にこんな素晴らしいものが眠っていたことにおどろきです。展示がなければ知ることもなかったでしょう。コラボのあんみつを食して又シールをもらえちゃいました。
・学芸員に説明していただいてよく分かりました。パネルの大きさが適切で良いと思います。文字数もちょうど良いと思います。
・興味ある品々でした。
・ミュージアムトークがききやすくわかりやすくおもしろかったです。また次回もたのしみにしています。コラボの和菓子がとてもおいしかったです！チラシが目を引くデザインで良かったです。
・自分だけで観覧しているだけでは、絶対に気づけないポイントの説明がとても面白かったです。今回はコラボの和菓子屋メニューがありさらに楽しさ倍増でした。
・私は神保先生の教え子です（昭和３０年生まれ）昭和３８年ごろ２年生でした。同級生に伝えたいと思います。
・中山道についての知識が増え、とても良かったと思います。
・戦国武将についてなどもっと子細に説明があると楽しいと思う。
・貴重な物を見ることができました。ありがとうございました。
・太田本陣がよくわかってたのしかった。
・目が悪く文面判読約半分。中山道を踏破しているので
・チラシや、パネルのデザインに程よく遊びの要素が入っていて、みていて楽しかったです。シシの器がかわいかった。
・本物が展示してあってみていて楽しかった。
・本陣で当時使用していた物品が多く展示されていてより興味を持つ事が出来ました。説明のパネルも分かり易くて良かったと思います。
・太田宿福田家のお宝の品々良かったです。
・江戸時代に日本橋から京都までをつないだ中山道。太田宿は 51 番目の宿で身分の高い大名や公家、幕府の役人が宿泊され、本陣や脇本陣と呼ばれていたことを知って、この時代にとても興味あり展示会を楽しみにしてました。太田本陣の資料のすばらしさに感動～！！展示がとてもきれいで魅了されました。
・若い世代に、先人の歴史を伝えていくことは、大事だと思います。定期的に、例えば １回/年 とか、展示会を開くことを希望します。
・美しく展示されていて、また保存状態も良く、とても良かったです。説明文も端的でわかりやすく、見やすいと思いました。
・何故本庄宿との比較を行ったのか目的がよくわからなかった。中山道の宿場であるという共通点だけ？太田宿と本陣周辺に絞って近隣の姿をもう少し掘り下げてみてほしかった。
・この展示会を勧めたいが最終日に来たので勧めれず残念。
・本企画展は 4 回目。
・これだけの品を管理されて大変だったと思います。これから保管するのに大変さがわかります。こんなにきれいに保管されて素晴らしいと思います。
・美濃加茂市民ミュージアムの企画はおもしろい！！

・これだけのものを管理されているが大変なことと思います。
・美濃加茂の歴史を知られてうれしい。よかったです。
・文化の森こそが「宿」なのではと思いました。人々が行かい、言葉も交わすことのできる、そして何かが生まれる処。いつもありがとうございます。あんまりしっかり見てないかもですが、ありがとうございました。楽しかったです。
・貴重な調度品を今まで保管されているのが素晴らしく、そちらをこのような形で見学させて頂けることがありがたいです。
・7/21 ミュージアムトークに参加し、興味が深まり、展示を見ることが出来ました。常設の太郎洞池物語も、18代太郎八の功績として改めて見ました。（企画展での太郎洞池の約定証文の続きが見られてうれしかったです。）18代太郎八に興味をもち、四つのため池のこと、太田新田開発史など読んだり、現在の４つの池をグーグルマップで見たり、楽しかったです。由緒書に関連してたまたま名古屋城を訪れたので、尾張徳川家のことも勉強できました。いろいろ学べ、今年の私の”夏休み研究”になりました。